



ベトナム便り

～火炎樹の街、ハイフォンより～



Xin Chào シンチャオ！ (ベトナム語で「こんにちは」という意味です。)

2017年7月より青年海外協力隊としてベトナムのハイフォン市で活動中の川上真由子と申します。ベトナムに来て早10ヶ月が経ちました。これまでの協力隊の活動やベトナムの生活、文化についてお伝えしたいと思います。ベトナムや海外を身近に感じたり、興味を持ったりしてもらえると幸いです。

ベトナムについて



ベトナム社会主義共和国 (Socialist Republic of Vietnam)

首都：ハノイ 人口：9,270万人
(日本の0.75倍)

日本の南西に位置する国です。
日本からの距離は約4,000キロ、成田からハノイまで飛行機に乗っている時間は約6時間です。

日本との時差は2時間。日本が12時の時ベトナムは10時です。

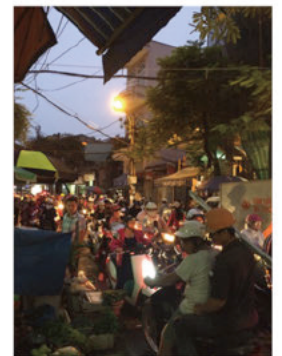
南北に長いため、北部、南部、中部で気候が異なります。南部は1年中夏気温、北部は四季があり、中部はミックスした感じ。私のいる北部は現在(5月初旬)は少し蒸し暑くなってきた初夏の季節です。一番暑い6月には40度を超えるそう。覚悟しておかないと！

ハイフォン市について

上の地図にもありますが、首都ハノイからバスで2時間ほど行ったところにある、ハイフォン市が私の赴任地です。ハイフォン市はベトナム北部最大の港を持つ直轄市(日本の政令市に相当)です。フランス植民地時代の建物が多く残っています。日系企業が多く進出している地域としても有名な場所。大きなデパートやスーパー、日本製品のお店などで日本の調味料等もある程度は手に入ります。ホーチミン、ハノイに次ぐベトナム第3の都市で、人口は170万人です。首都や田舎などの観光地ではなく、「普段のベトナム」の風景が味わえる感じがします。5月になると火炎樹という綺麗な赤い花が街中で咲くことから「火炎樹の街」として知られています。世界遺産として有名なハロン湾まで車で1時間ほどです。



←家の近所↓



ハイフォン駅

ベトナムの第一印象



交通量の多さにびっくり！！

左の写真は大都会ハノイで語学研修中に毎日通っていた大通り。同じ方向だけで一体何車線？という程の車の量！特に車線はなく、隙間を埋めるように車やバイクがびっしりです。そして横断歩道がなくても人が隙間を縫うように道路を渡ります。ハイフォンに来て、だいぶ隙間が増えた気がします。だいぶ慣れましたが、私よりもベトナムの犬の方が道路を渡るのが上手かったりします。

屋台や市場、活気溢れる街並



ご飯どきになると、野菜や肉が並ぶ市場や、小さな椅子とテーブルで食べる屋台が現れ、道の両側がとても賑やかになります。市場では野菜もバラ売り、肉もグラム売りなのでとても便利でよく利用しています。屋台では、一食2万5千ドン（約130円）ぐらいと安く、注文してすぐに食事が出てくるのでこちらも毎日お世話になっています。

日本語クラブの様子

私が活動しているのは市の児童文化会館です。「ハイフォン市の生徒・児童の日本語や日本文化における興味・関心・学習意欲の向上をはかる」という活動目標のもと、赴任と同時に新規で作られた日本語クラブを担当しています。主な活動内容は、会館で日本語授業をしたり、市内の小学校への訪問授業を行ったり、日本文化に関するイベントの企画やサポートなどをすることです。小学生、中学生がクラブに参加してくれていますが、みんな日本にとっても興味を持ってきていて、将来日本に行きたい子や、日本語クラスのある高校に進学したいという声もききます。

授業以外では日本の高校生との文通交流、市内にある日系企業への社会見学の企画、市内小学校でのイベントに向けてソーラン節の指導等も行ってきました。

語学を学ぶだけでなく、日本文化に触れたり、他校や他国の新しい友達と交流したりと、様々な新しい体験をし、生徒それぞれの成長につながってほしい。そのような思いでこのクラブの企画・運営に携わっています。

学校施設とはまた違った環境なので、集客や存続に関しても対策を考えなくてはなりません。課題は色々ありますが、残り約一年、自分の出来る事をコツコツと積み重ねていきたいと思っています。



中学生授業 会話練習



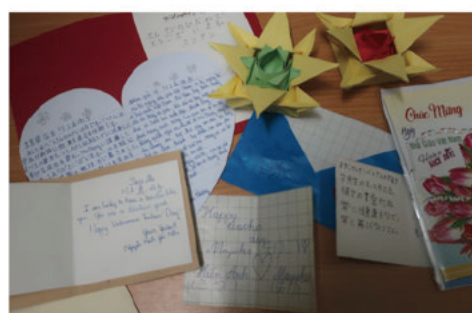
三重県熊野市の高校生と文通しました



ソーラン節の発表



小学生クラス 手作りかぶと



先生の日にももらった生徒からの手紙